

## 「第 40 回岩盤力学に関するシンポジウム」プログラム

岩盤力学委員会では、岩盤工学および岩盤力学に関する最新の調査研究、技術の成果発表の場を広く提供するため、「岩盤力学に関するシンポジウム」を開催しております。また、岩盤力学委員会の研究小委員会によるパネルディスカッションを実施いたします。

下記の要領で「第 40 回岩盤力学に関するシンポジウム」を開催いたしますので、各界の技術者、研究者、学生などの多数の参加をお願いいたします。

### 1. シンポジウム案内

主催	土木学会(担当:岩盤力学委員会)
共催	岩の力学連合会, 資源・素材学会, 地盤工学会, 日本材料学会
期日	2011年1月13日(木), 14日(金)
場所	土木学会「土木会館」2階 講堂, 会議室
講演集	第40回岩盤力学に関するシンポジウム講演集(CD-ROM版, 参加費に含む)
参加費	<p>主催・共催学会に所属の場合            事前申込 : 一般7,000円, 学生2,000円 事前申込(～2010/12/10)            当日申込 : 一般8,000円, 学生3,000円</p> <p>主催・共催学会に所属でない場合            事前申込 : 一般8,000円, 学生2,000円 事前申込(～2010/12/10)            当日申込 : 一般9,000円, 学生3,000円</p>
講演要領	口頭発表およびポスター発表の講演要領は、「6. 一般セッション講演要領」をご覧ください。
表彰制度	<p>表彰対象 : シンポジウムにおけるすべての口頭・ポスター発表</p> <p>賞の種類 : 優秀講演論文賞・・・提出された原稿と発表の内容が非常に優れているもの。            優秀ポスター賞・・・ポスター発表の内容が優れたもの(ただし、提出された原稿が一定のレベルを満たしているもの)。</p> <p>#優秀ポスター賞の選考には参加者の声が反映されます。受付にて投票用紙を配布いたしますので、優れたポスター発表をご記入の上、受付に設置された投票箱に入れてください。</p> <p>表彰式 : シンポジウムの閉会式(1月14日 16:30～16:50)</p> <p>賞品 : 楯, 賞状</p> <p>表彰制度の詳細は、「7. 表彰制度」をご覧ください。</p>
問合せ先	土木学会研究事業課 増永 克也宛 TEL:03-3355-3559/FAX:03-5379-0125/E-mail:masunaga@jsce.or.jp

## 第 40 回岩盤力学に関するシンポジウム プログラム

2011/1/13(木)

会場	9:20-9:30	9:30-11:15	11:15-12:35	12:35-13:35	13:35-14:35	14:45-16:30	16:40-17:40	18:00-20:00
第 1 会場 (講堂)	開会挨拶*	トンネル・地下空洞 ①(6 件)	パネルディスカッション①	昼食	ポスター コアタイム (14 件)	トンネル・地下空洞 ②(5 件)	特別講演会	懇親会
第 2 会場 (CD会議室)		室内・模型試験 (6 件)				現場計測・最新の 計測技術(7 件)		
第 3 会場 (EF会議室)		強度・変形(7 件)				グラウト(7 件)		

\* 開会挨拶:大久保 誠介(岩盤力学委員会 委員長)

2011/1/14(金)

会場	9:30-11:00	11:00-12:20	12:20-13:20	13:20-14:50	15:00-16:20	16:30-16:50
第 1 会場 (講堂)	放射性廃棄物処分① (6 件)	パネルディスカッション②	昼食	放射性廃棄物処分② (6 件)	パネルディスカッション③	表彰式** 閉会挨拶***
第 2 会場 (CD会議室)	斜面・斜面災害① (6 件)			斜面・斜面災害② (4 件)		
第 3 会場 (EF会議室)	岩の性質・評価① (5 件)			岩の性質・評価② (6 件)		

\*\* 表彰式:大久保 誠介(岩盤力学委員会 委員長)

\*\*\* 閉会挨拶:清水 則一(岩盤力学委員会 副委員長)

口頭発表 71 件

ポスター発表 14 件(うちポスターのみ 5 件)

パネルディスカッション

(1) パネルディスカッション① (1月13日 11:15~12:35/会場: 第1会場 (講堂))

テーマ	国際リニアコライダ (ILC) 施設の土木工事に関するガイドライン策定
担当	国際リニアコライダ施設の土木工事に関する指針策定委員会
座長	近久博志 (山口大学)
パネラー	委員兼幹事 宮原 正信 高エネルギー加速器研究機構 委員兼幹事 来山 尚義 復建調査設計 (株) 委員 真下 英人 (独) 土木研究所 委員 西本 吉伸 電源開発 (株) 委員 中野 清人 (株) 高速道路総合技術研究所 委員 岡部 治正 (株) 日建設計
内容	本小委員会はILC施設の土木工事に関する課題や問題点に対して、現時点で考えられる対応策をガイドラインとしてとりまとめようとするものである。3年間の活動の中で、初年度はILC小委員会の研究成果である「加速器建設の土木技術に関する調査研究報告書」に基づき、今後の活動の方向性や方針を検討している。 パネルディスカッションでは、ILC計画の最近の動向を紹介し、土木技術に関する課題や問題点とガイドライン策定に向けた方向性についての議論を予定している。実際的な作業に入る前に、ILC施設や学会の関係者から幅広い意見を戴き、今後の活動に役立てて行きたい。

(2) パネルディスカッション② (1月14日 11:00~12:20/会場: 第1会場 (講堂))

テーマ	岩盤斜面災害は予知可能か? ~斜面ハザード評価からの研究アプローチ~
担当	岩盤斜面ハザード評価研究小委員会
座長	進士正人 (山口大学)
パネラー	1: これまでの取り組み (西村強 鳥取大学) 2: 崩壊規模と発生頻度 (小俣新重郎 日本工営 (株), 上野将司 応用地質 (株)) 3: 斜面崩壊事例からみた崩壊形態 (日外勝仁 土木研究所) 4: 影響評価の現状 (川北稔 (株) ドーコン) 5: 崩壊シナリオを用いた影響評価の具体例 (三木茂 基礎地盤コンサルタンツ (株)) 6: 岩盤斜面ハザード評価の現状 (進士正人 山口大学)
内容	急崖で発生する岩盤崩壊現象は、非常に長い時間の中で発生する自然現象であり、予知・予測への完全な対応は技術的に困難といわれている。本委員会では、既往の崩壊事例について、発生箇所の地形、崩壊形態、想定原因、規模と頻度等について詳細な分析を行うとともに、不連続体解析法を活用したハザード評価の方法について検討を行ってきた。パネルディスカッションでは、岩盤崩壊現象の背景と、想定される崩壊のシナリオを通じて、崩壊前の危険な岩盤斜面にどのように対応すべきかについて議論する。

(3) パネルディスカッション③ (1月14日 15:00~16:20/会場：第1会場 (講堂))

テーマ	我が国での CCS 実現における岩盤工学の果たす役割について
担当	温室効果ガス削減に向けての岩盤工学の果たす役割の調査準備委員会
座長	京谷孝史 (東北大学)
パネラー	1. 「CCSに関する政策と課題」小澤 典明 (経済産業省) 2. 「産業界のCO <sub>2</sub> 削減の取り組みとCCSについて」(パネラー未定) 3. 「CO <sub>2</sub> 圧入時の物性評価とモニタリング技術の現状と課題」薛 自求 ((財)地球環境産業技術研究機構(RITE)) 4. 「シミュレーション技術の現状と課題」山本 肇 (大成建設株式会社) 5. 「CCSは本当にやるべきことなのか、その技術的課題とは」岸田 潔 (京都大学)
内容	二酸化炭素の岩盤内貯留技術(CCS)は、いま世界的に注目されている低炭素化技術の一つである。我が国でも低炭素社会実現のために、様々な機関でCCS技術に関する様々な基礎研究が進められているが、これらの研究は、当初から主に石油を中心とした資源関係の技術者の手で進められており、岩盤工学系技術者は現在まで積極的な参画の機会を見出せないでいるのが現状である。本パネルディスカッションでは、これまで岩盤を利用した国家的プロジェクトを担ってきた方々およびこれからの世代を担っていく若手の方々と、CCS技術研究の現状と課題を共有するとともに、今後この分野において岩盤工学の果たすべき役割について討議する。

(4) 特別講演会 (1月13日 16:40~17:40/会場：第1会場 (講堂))

テーマ	岩盤の熱—応力—浸透—化学連成挙動
講演者	Dr. Min Ki-Bok (ソウル大学)
対応	岩の力学連成会
内容	アジアおよび世界の中でもプレゼンスが高まっている韓国における岩盤工学の現状について講演していただきます。現在、韓国で進行しているプロジェクトや、今後近い将来実施するであろう巨大プロジェクト等について説明して頂きます。 また、学術的な観点から、連成問題を扱う最新の数値解析手法 (DFN-DEM: Discrete Fracture Network-Discrete Element Method) についてご講演いただきます。DFN-DEMの詳細や、その解析モデルを用いて実施した、高レベル放射性廃棄物処分施設の想定建設サイトにおける適用解析例等について説明して頂きます。

懇親会 (1月13日 18:00~20:00/会場：第1会場 (講堂))

主催	土木学会
場所	第1会場 (講堂)
参加費	1,000円 (参加自由。シンポジウム開催当日会場にて受付け、お支払いいただきます。)
	【ビール片手に議論を！】 懇親会 (1/13 18:00~20:00) の時間帯もポスター発表を実施します。ビール片手に活発な議論が交わされることを期待しています。

一般セッションプログラム

(1) 口頭発表セッション

- 『トンネル・地下空洞 (1)』 / 1月13日 (木) 9:30~11:15 / 会場：第1会場 (講堂) / 司会：西本 吉伸 (電源開発)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
1	0	幌延深地層研究所における立坑掘削に伴う周辺岩盤および支保の挙動分析 (その1) ○稲垣 大介, 津坂 仁和, 井尻 裕二, 小池 真史, 羽出山 吉裕
2	0	幌延深地層研究所における立坑掘削に伴う周辺岩盤および支保の挙動分析 (その2) ○津坂 仁和, 稲垣 大介, 小池 真史, 井尻 裕二, 羽出山 吉裕
3	0	瑞浪超深地層研究所における新しい定量的岩盤分類法の適用性評価 ○浅井 秀明, 久慈 雅栄, 堀内 泰治, 松井 裕哉
4	OP	ボスポラス海峡横断鉄道工事における大規模・大深度地下駅掘削時の安定性検討-三次元逐次掘削解析による事前評価と情報化施工- ○坂井 一雄, 小池 真史, 青木 智幸, 大塚 勇, 金子 哲也, 岩野 政浩
5	0	京極発電所地下空洞掘削における情報化施工 西村 哲治, 角谷 英一郎, ○武田 宣孝, 毛馬内 学, 高山 正志, 名合 牧人
6	0	地下空洞設計法の現状と課題について ○亀村 勝美

- 『トンネル・地下空洞 (2)』 / 1月13日 (木) 14:45~16:30 / 会場：第1会場 (講堂) / 司会：廣末 龍文 (大成建設)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
7	0	鋼管間の抜け落ちに着目したトンネル先受け工の最適間隔に関する研究 佐藤 翼, 土井 勇介, ○進士 正人
8	0	模型実験による土砂地山トンネルにおけるロックボルト効果に関する一考察 ○森本 智, 真下 英人, 角湯 克典, 日下 敦
9	0	地震動に伴う岩盤斜面に近接する浅所トンネルの破壊形態と安定性の評価 ○太田 良巳, 藍檀 オメル
10	0	膨張性地山に施工されたトンネルの変形解析手法の検討に関する研究 ○東 幸宏, 蔣 宇静, 李 博, 高橋 俊長, 山田 浩幸,
11	0	個別要素法を用いた多層地盤中における浅層トンネルの掘削シミュレーション解析 ○錦 崇仁, 伊世 健太郎, 楠見 晴重, 中村 真

発表形式・・・0：口頭発表，P：ポスター発表，OP：口頭発表+ポスター発表

- 『室内試験・模型実験』／1月13日（木） 9:30～11:15／会場：第2会場（CD会議室）／司会：竹原 孝（産業技術総合研究所）

講演番号	発表形式	タイトル・著者（○は発表者）
12	OP	圧裂試験を用いた弾性主軸方向が既知の異方性岩石材料に対する異方性比の推定方法 ○堤 隆
13	0	含水飽和した岩石の一軸引張試験 ○羽柴 公博, 福井 勝則, 大久保 誠介
14	OP	圧裂引張り試験における破壊のメカニズムを解明するための試験機の開発 ○青野 泰久, 谷 和夫, 岡田 哲実, 酒井理哉
15	0	数理モデルを用いた岩石の動的強度評価 ○岡田 哲実, 伊藤 洋, 納谷 朋広, 熊谷 小百合
16	0	Subloading $t_{ij}$ モデルによる大断面非円形トンネルを対象とした遠心模型実験の解析と軟岩地山挙動の検討 ○奥野 哲夫, 杉山 博一, 中井 照夫, Hassain Md. Shahin
17	0	静水圧増加に伴うS波速度変化と内部構造変化—砂・シルトコアの場合— ○高橋 学, 高橋 直樹, 安 昶完, 竹村 貴人

- 『現場計測, 最新の計測技術』／1月13日（木） 14:45～16:30／会場：第2会場（CD会議室）／司会：森 聡（ニュージェック）

講演番号	発表形式	タイトル・著者（○は発表者）
18	0	ひずみゲージの圧着を特徴とした原位置孔底三軸試験装置の室内検証実験 ○田中 悠一, 谷 和夫
19	0	HORIZONTAL IMPACT AND THE DYNAMIC BEHAVIOR OF A GROUP OF STRUCTURES 上西 幸司, ○土井 智史
20	0	光ファイバーを利用した原位置AEセンサの開発 ○畑 浩二, 宮崎 裕光, 田仲 正弘, 布谷 勝彦, 齊藤 義弘, 藤井 宏和
21	0	埋設型センサーで計測されるひずみの補正に関する室内要素試験 谷 和夫, ○田中 悠一, 岡田 哲実, 平野 公平, 高倉 望, 池野谷 尚史
22	0	史跡「石城山神籠石」の保全のための計測管理手法 ○近久 博志, 太田 隆一, 河原 剛, 来山 尚義, 岡本 良徳, 佐々木 杏奈
23	0	地盤補強材のための光る変位計の開発 ○芥川 真一, 南 裕輔, 山地 宏志, 羽馬 徹, 廣嶋 孝也, 野澤 忠明
24	0	干渉 SAR の地表面変位観測によるCO <sub>2</sub> 地中挙動モニタリング手法に関する数値解析的検討 ○山本 肇, 大沼 巧, 熊谷 司, Jonny Rutqvist

発表形式・・・0：口頭発表，P：ポスター発表，OP：口頭発表＋ポスター発表

■ 『強度・変形』／1月13日(木) 9:30~11:15／会場：第3会場 (EF 会議室)／司会：木戸 研太郎 (水資源機構)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
25	OP	孔底三軸試験における試験体へのひずみゲージの全周接着方法に関する検討 ○重国 祐貴, 谷 和夫
26	OP	横ずれ断層の断層変位による地表面変形の食い違い弾性理論を用いた検討 ○大草 陽太郎, 谷 和夫
27	OP	岩盤せん断試験の粘着力とせん断抵抗角のブロックの挙動を考慮した分析 ○富樫 陽太, 谷 和夫
28	0	弱層のせん断強度シミュレーションソフトウェアの開発 ○倉橋 稔幸, 吉田 直人, 佐々木 靖人, 矢島 良紀, 寶谷 周
29	0	不連続性岩盤上に設置する構造物の地震応答における複合降伏モデルの適用性 ○岩田 直樹, 佐々木 猛, 吉中 龍之進
30	0	粒状体解析による硬岩のモデル化における圧裂引張試験と一軸引張試験の適用性 ○中島 伸一郎, 児玉 涼, 井上 健太郎, 清水 則一
31	0	堆積岩による排水三軸せん断-保持-せん断試験 ○岸田 潔, Derek Elsworth, 矢野 隆夫, 安原 英明, 中島 伸一郎

■ 『グラウト』／1月13日(木) 14:45~16:30／会場：第3会場 (EF 会議室)／司会：倉橋 稔幸 (土木研究所)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
32	OP	瑞浪超深地層研究所深度 300m における耐久性に優れた溶液型グラウトの試験施工 ○延藤 遵, 辻 正邦, 草野 隆司, 見掛 信一郎, 神谷 晃, 石井 洋司
33	0	瑞浪超深地層研究所深度 400m 以深の立坑掘削におけるプレグラウチングの施工 ○石井 洋司, 見掛 信一郎, 神谷 晃, 渡辺 和彦, 延藤 遵, 草野 隆司
34	0	瑞浪超深地層研究所における研究坑道掘削と施工対策技術の適用 ○見掛 信一郎, 山本 勝, 池田 幸喜,
35	OP	生体触媒反応を介したセメンテーションによる改良砂の力学特性 ○鹿渡 洗一, 林 和幸, 木下 尚樹, 安原 英明
36	0	耐久性に優れた溶液型グラウトの岩盤亀裂内での高水圧抵抗メカニズムに関する実験と考察 ○杉山 博一, 延藤 遵
37	0	大分川ダムにおけるグラウチング試験 ○石戸 善明, 長谷川 清史, 山口 嘉一, 永松 和彦
38	0	嘉瀬川ダムにおける風化岩盤の透水性評価及び限界圧力の判定方法 ○大野 将嗣, 松本 佳之, 永松 和彦, 山口嘉一, 大江 和正, 加登住 誠

発表形式・・・0：口頭発表，P：ポスター発表，OP：口頭発表+ポスター発表

- 『放射性廃棄物処分（1）』／1月14日（金） 9:30～11:00／会場：第1会場（講堂）／司会：安原 英明（愛媛大学）

講演番号	発表形式	タイトル・著者（○は発表者）
39	0	単一亀裂を対象とした一次元トレーサー試験による亀裂内移流・分散およびマトリクス拡散パラメータの評価方法 ○熊本 創, 下茂 道人
40	OP	高レベル放射性廃棄物処分施設周辺の力学的挙動に関する実験的研究—遠心載荷模型実験とX線CT撮影— ○西本 壮志, 岡田 哲実, 澤田 昌孝, 荒井 郁岳
41	0	弾性波トモグラフィ調査の掘削影響領域モニタリング技術への適用 ○杉田 裕, 中村 隆浩, 真田 祐幸
42	0	50cmスケールの岩石試料の亀裂開口幅測定データに基づく亀裂の透水特性評価 ○澤田 淳, 鐵 桂一, 坂本 和彦
43	0	地下深部岩盤の歪変化のメカニズムに関する研究 ○堀内 泰治, 平野 享, 池田 幸喜, 松井 裕哉
44	0	連続体・不連続体解析手法を用いた処分孔周辺岩盤の熱—応力連成挙動の評価 ○清水 浩之, 小山 倫史, 千々松 正和, 藤田 朝雄, 中間 茂雄

- 『放射性廃棄物処分（2）』／1月14日（金） 13:20～14:50／会場：第1会場（講堂）／司会：小山 倫史（京都大学）

講演番号	発表形式	タイトル・著者（○は発表者）
45	0	堆積軟岩を対象としたチャンネルネットワークモデルへの分散・収着・核種移行機能の追加 ○岩野 圭太, 川端 淳一, 戸井田 克, 渡辺 邦夫
46	0	堆積軟岩の原位置加熱実験（フェーズII） ○池野谷 尚史, 岡田 哲実, 高倉 望, 澤田 昌孝, 平野 公平, 谷 和夫
47	0	堆積軟岩の原位置加熱実験計画（フェーズIII・IV） ○高倉 望, 岡田 哲実, 池野谷 尚史, 澤田 昌孝, 平野 公平, 谷 和夫
48	0	堆積軟岩における原位置加熱実験の熱・水・応力連成解析 ○澤田 昌孝, 岡田 哲実, 谷 和夫, 高倉 望, 池野谷 尚史
49	0	堆積軟岩の原位置加熱実験に伴う不飽和域可視化の試み ○窪田 健二, 鈴木 浩一, 池野谷 尚史, 高倉 望, 谷 和夫
50	0	せん断変形の進行に伴う堆積軟岩の透水特性の変化 ○郷家 光男, 石井 卓, 佐ノ木 哲, 松井 裕哉, 杉田 裕

発表形式・・・0：口頭発表，P：ポスター発表，OP：口頭発表＋ポスター発表



- 『斜面および斜面災害（1）』／1月14日（金） 9:30～11:00／会場：第2会場（CD会議室）／  
司会：小早川 博亮（電力中央研究所）

講演番号	発表形式	タイトル・著者（○は発表者）
51	0	三次元不連続変形法(3D-DDA)による落石モデルの検討 佐々木 猛, ○萩原 育夫, 三木 茂, 大西 有三, 西山 哲, 小山 倫史
52	0	DDAによる落石解析のための解析パラメータ決定法に関する研究 ○島内 哲哉, 鄭 惟, 中村 公一, 佐々木 猛, 西山 哲, 大西 有三
53	0	落石シミュレーションによる富士山落石災害の合理的な落石対策 ○馬 貴臣, 佐野 貴洋, 飯田 温, 本多 美仁, 本多 豊, 増田 三男
54	0	個別要素法による岩盤斜面崩壊解析における入力値の影響に関する数値実験 ○平松 大周, 西村 強, 辻野 考治
55	0	不連続変形法による降雨に起因する斜面崩壊の予測解析 ○入江 敬, 小山 倫史, 酒井 直樹, 西山 哲, 安田 祐樹, 大西 有三
56	0	岩盤斜面の地震時安定性に関する複合降伏モデルの適用性 黒岡 浩平, 広兼 修治, 谷田 哲也, 岩田 直樹, 片山 吉史, ○笹井 友司

- 『斜面および斜面災害（2）』／1月14日（金）13:20～14:50／会場：第2会場（CD会議室）／  
司会：戸井田 克（鹿島技術研究所）

講演番号	発表形式	タイトル・著者（○は発表者）
57	0	DYNAMIC STABILITY OF A SLOPE SUBJECTED TO SURFACE WAVES AND POSSIBLE MECHANICAL ROLE OF GROUND ANCHORS ○上西 幸司
58	0	集中豪雨による浸透流を考慮した斜面崩壊メカニズムの解明に関する基礎研究 蔣 宇静, ○田中 利典, 李 博, 杉本 知史, 棚橋 由彦, 中川 光雄
59	0	岩石の引張強さに着目した落下岩塊の大きさの推定 ○浦越 拓野, 川越 健, 太田 岳洋, 石原 朋和
60	0	遠隔非接触振動計測及び数値解析による岩盤安定性における寸法効果の検討 ○馬 貴臣, 沢田 和秀, 八嶋 厚, 上半 文昭, 村田 修, 斎藤 秀樹

発表形式・・・0：口頭発表，P：ポスター発表，OP：口頭発表＋ポスター発表

- 『岩の性質・評価 (1)』 / 1月14日 (金) 9:30~11:00 / 会場：第3会場 (EF会議室) / 司会：長田 昌彦 (埼玉大学)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
61	0	自己組織化マップを用いた物理探査の複合評価手法に関する研究 ○山本 龍, 楠見 晴重, 中村 真, 辻 健, 中村 香澄
62	0	埋設水圧鉄管周辺岩盤の動的応答特性と載荷重依存性について ○松本 正浩, 田坂 嘉章, 大森 剛志
63	0	乾燥温度の違いがスメクタイトを含む岩石の円柱(縦)点載荷強さに与える影響 ○河野 勝宣, 前田 寛之
64	0	ロックフィジックスをベースにした物理探査データの解釈技術の研究 (その3) —亀裂性岩盤の岩石モデル解析— ○高橋 亨, 藤田 勝代, 横山 俊治, 田中 莊一
65	0	Research on 3-D Surface Crack Growth in Rock-like Material under Uniaxial Tension ○Lei Yang, Yujing Jiang, Shucui Li, Bo Li, Tanabashi Yoshihiko

- 『岩の性質・評価 (2)』 / 1月14日 (金) 13:20~14:50 / 会場：第3会場 (EF会議室) / 司会：羽柴 公博 (東京大学)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
66	0	大谷石の風化に影響を与える環境因子抽出に関する試み ○菊池 健太, 清木 隆文
67	0	大谷石類似石の工学的性質の比較と大谷石の自硬性に関する研究 林 聖也, 高梨 倫明, 佐藤 陽, ○清木 隆文
68	0	琉球石灰岩岩盤に対する岩盤分類の適用とその力学的特性の評価 ○渡嘉敷 直彦, 藍壇 オメル
69	0	温度・拘束圧の負荷期間に依存するベレア砂岩の透水力学的特性の評価 ○鈴木 崇史, 安原 英明, 木下 尚樹, 高橋 学
70	0	各種岩石の乾燥変形現象の比較によるその支配要因の検討 ○長田 昌彦
71	0	不連続性岩盤の強度評価のマルチスケール極限荷重解析 ○鄭 慈恵, 京谷 孝史

発表形式・・・0：口頭発表，P：ポスター発表，0P：口頭発表＋ポスター発表

(2) ポスター発表セッション

■ポスター掲示期間：1月13日（木）9:30～1月14日（金）13:10

■コアタイム：1月13日（木）13:35～14:35

■会場：第1会場（講堂）

講演番号	発表形式	タイトル・著者（○は発表者）
72	P	山岳トンネルの施工中における集中湧水リスク評価のための事例分析 金沢 淳, 倉橋 稔幸, 佐々木 靖人
73	P	炭酸カルシウムで充填した岩石割れ目の微視的観察；屋久島の花崗岩と堆積岩を対象として 松下 智昭, 長田 昌彦, 高橋 学
74	P	弾性波トモグラフィを用いた地盤の透水係数分布の推定手法の研究 垣野内 隆一郎, 西山 哲, 矢野 隆夫, 高橋 学, 安藤 賢一, 吉村 公孝
75	P	デジタル写真測量の斜面挙動監視への適用に関する研究 吉岡 晃希, 西山 哲, 矢野 隆夫, 林 邦彦, 藤岡 大輔
76	P	大谷石採取場跡地の大規模地下空間と地盤の冷熱利用の可能性検討 来山 尚義, 的場 征史, 半田 正道, 近久 博志
4	OP	ボスポラス海峡横断鉄道工事における大規模・大深度地下駅掘削時の安定性検討 -三次元逐次掘削解析による事前評価と情報化施工- ○坂井 一雄, 小池 真史, 青木 智幸, 大塚 勇, 金子 哲也, 岩野 政浩
12	OP	圧裂試験を用いた弾性主軸方向が既知の異方性岩盤に対する異方性比の推定方法 ○堤 隆
14	OP	圧裂引張り試験における破壊のメカニズムを解明するための試験機の開発 ○青野 泰久, 谷 和夫, 岡田 哲実
25	OP	孔底三軸試験における試験体へのひずみゲージの全周接着方法に関する検討 ○重国 祐貴, 谷 和夫
26	OP	横ずれ断層の断層変位による地表面変形の食い違い弾性理論を用いた検討 ○大草 陽太郎, 谷 和夫
27	OP	岩盤せん断試験の粘着力とせん断抵抗角のブロックの挙動を考慮した分析 ○富樫 陽太, 谷 和夫
32	OP	瑞浪超深地層研究所深度 300m における耐久性に優れた溶液型グラウトの試験施工 ○延藤 遵, 辻 正邦, 草野 隆司, 見掛 信一郎, 神谷 晃, 石井 洋司
35	OP	生体触媒反応を介したセメンテーションによる改良砂の力学特性 ○鹿渡 洗一, 林 和幸, 木下 尚樹, 安原 英明
40	OP	高レベル放射性廃棄物処分施設周辺の力学的挙動に関する実験的研究－遠心載荷模型実験と X 線 CT 撮影－ ○西本 壮志, 岡田 哲実, 澤田 昌孝, 荒井 郁岳

注) ポスター会場を第1会場（講堂）とし、懇親会中（1/13 18:00～20:00）もポスター閲覧ができるようにします。発表者は可能な限りポスター会場に控えるようお願いいたします。懇親会に参加されない方もご協力をお願いいたします。

発表形式・・・0：口頭発表，P：ポスター発表，OP：口頭発表＋ポスター発表